

NO.	テーマ等	人権教育の視点等
(4)	「自分」を生かす	1－(2)－ア 自尊感情の形成 3－(1)－イ 個性・能力の伸長
	【活動対象領域等】 道徳科・特別活動	【対象学年】 小学校 3・4年

1 ねらい

- (1) 性別にかかわらず、それぞれの違いを個性として認め合うとともに、自分の特性に気づき、長所を伸ばそうとする意欲と態度を身につける。
- (2) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる考えや意見も大切にしながら主体的に話し合うことができる。
- (3) 学校生活の中で、性別による固定観念に基づく言動がないかを振り返り、個性を尊重しようとする態度を身につける。

2 指導にあたって

- (1) 自主教材「それがつばさ」を読んで、児童がつばさの性別に対して疑問をもつことが予想される。その場合は、「どっちなんだろうね」と問いかけることによって、児童の性別に対する固定観念に気づかせるとともに、個性は、固定観念によって制約されるものではないことを話し合いの中で認識させたい。また、つばさは、性的マイノリティではないかという意見が出た場合、教師は肯定的に受け止めることが必要である。については、『性的マイノリティ』に対する正しい理解のために」* (H27 県教委) などを活用して、理解を深めておく。
- (2) ワークシート②は、身体的特徴を表わす項目があるが、児童の実態によって、項目を変更するなどの配慮をする。
- (3) ワークシート②を記入すると「あてはまらない」が多くなる児童もいることが予測されるため、空欄を設け、自分や友だちが項目を書き加えられるようにしている。たくさん〇がつくことがよいわけではなく、ワークシート②に収まらない個性がたくさんあることも確認したい。

3 指導計画（全2時間）

- (1) 第1次 自分のことを見つめよう[1時間] <本時>
- (2) 第2次 違いを認め合い、尊重しあえるクラスについて考えよう[1時間]

4 備考

第1次は道徳科の授業として、内容項目「個性の伸長」にこの学習を位置づける。「自分の良い所をのぼして」(わたしたちの道徳 小学校3・4年)などの教材と合わせて使用できる。

第2次では、第1次の学習を受けて、学校生活の中で、性別による固定観念が働いていないかを振り返る。例えば、係活動での役割の偏りや、日常生活の中の言動である。その上で、それぞれの個性を生かして、協力できる学校生活にしようという意識をもたせたい。なお、第2次は特別活動として位置づけてもよい。

* 「性的マイノリティ」に対する正しい理解のために (H27 県教委)
(http://www.hyogo-c.ed.jp/~jinken-bo/sexual_minority_kensyusiryoy2803.pdf)



5 展開例

第3学年 道徳科学習指導案

(1) 本時の目標

人にはそれぞれ個性があり、その個性は性別で決まるものではないことに気づくとともに、意見の交流を通して、自分や友だちの個性を認め合うことができる。

(2) 準備物

ワークシート①、ワークシート②、ワークシート②の拡大版（掲示用）

(3) 展開

学 習 活 動	教 師 の 指 導 ・ 支 援 等	学 習 評 価
<p>1 「それがつばさ」を読む。</p> <p>2 気づいたことをワークシート①に書き込み、発表する。</p>	<p>□本時は、「自分を生かす」をテーマに、自分について考えていくことを伝える。</p> <p>□教師が範読し、内容をとらえやすくする。 【ワークシート①】</p> <p>□児童から出される、性別による固定観念についての意見を取り上げる。</p> <p>□話し合いの中で、つばさの性別は決められないが、どちらの性であっても、それがつばさの個性だということに気づかせる。</p>	<p>[関心]（発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもって発表し、友だちの意見も聞いている。
<p>ワークシート②「それが（自分）」で自分を見つめよう。</p>		
<p>3 自分にはどんな個性があるか、ワークシート②をもとに考える。</p> <p>4 ワークシート②をもとにグループ（4～5人程度）で交流する。</p> <p>5 グループでの交流で気づいたことを発表し、振り返りとまとめをする。</p>	<p>□自分の考えを大切にし、記入は自分の判断で良いことを伝える。 【ワークシート②】</p> <p>□ワークシートの項目は、あえて性別による固定観念で左右に分けられていることについて児童から意見ができれば取り上げ、つばさの例から、個性は性別で決まるものではないことに気づかせる。</p> <p>□グループの中で、項目ごとに一人一人が発表し、感想を言ったり、気づいたことを話したりする中で、お互いの個性の違いを認め合えるようにする。</p> <p>□グループ編成によっては、性別によって偏りが出てしまうことがある。クラス全体ではどうかを問い、個性は同じではないことを確認する。</p>	<p>[関心]（ワークシート②）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを振り返り、自分や友だちの特徴を考えようとしている。 <p>[関心]（態度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を話し、友だちの意見に関心をもって聞いている。
<p>人にはそれぞれ個性があり、個性は性別で決まるものではないことに気づくとともに、自分や友だちの個性を認め合うことができる。</p>		

Point

全体のまとめでは、ワークシート②の結果をふまえると、性別によって個性が決まってしまうということが分かる。

6 学習資料1 (ワークシート①)

それがつばさ

つばさは かわいいものがすき
手作りマスコットがお気に入り

つばさは けっこう力もち
ものをはこぶときは たよりになる

つばさは とってもきれいずき
つくえの中は いつもぴかぴか

つばさの^{ゆめ}夢は サッカーせんしゆ
足の速さは ピカイチだ

それが つばさ

つばさの「よさ」は

^{みらい}未来へはばたく「つばさ」なのだ

気づいたことをかこう。

7 学習資料2 (ワークシート②)

それが () !

1 自分にあてはまるものはどれだろう

自分の名前を書こう

*あてはまるものに○をつけよう

ていねい		力が強い	
音楽が ^す 好き		乗り物が ^す 好き	
本を読むのが ^す 好き		工作が ^す 好き	
おしゃれが ^す 好き		ゲームが ^す 好き	
かみの毛が長いのが ^す 好き		かみの毛が短いのが ^す 好き	
りょうり ^{とくい} 料理が得意		スポーツが ^{とくい} 得意	
世話 ^ず 好き		ねばり強い	
やさしい		ゆうき ^{ゆうき} 勇気がある	

*空らんには、自分にあてはまる好きなこと、得意なことなどを書いてみよう。

*友だちに聞いてもいいよ。

2. 交流して気づいたこと、思ったことを書こう

